

はじめに

このたびは、新日軽・「バス・タクシー停留所BT1型」をお買い上げくださり誠にありがとうございます。正しい施工をしていただくために、当説明書をお読みください。施工終了後、この取説は御施主様へ必ずお渡しください。

施工上の注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取り扱いによっては異状腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量にふくまれているから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
 - ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
 - ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
 - ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面に傷を付けますと、腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。
 - ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理してください。
 - ⑥輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますのでその使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
 - ⑦腐食の恐れのある接着剤や科学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしてください。また、接触する部分を完全に養生してください。
 - ⑧柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
 - ⑨基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
 - ⑩地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- *製品表面に、汚れ、ホコリが付着しないよう施工時には十分注意して取り扱ってください。
*汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたかすようにしてください。

規格表

名称	R屋根型	切妻屋根型
単体セット3220	○	○
標準セット6220	○	○
連棟セット3000	○	○

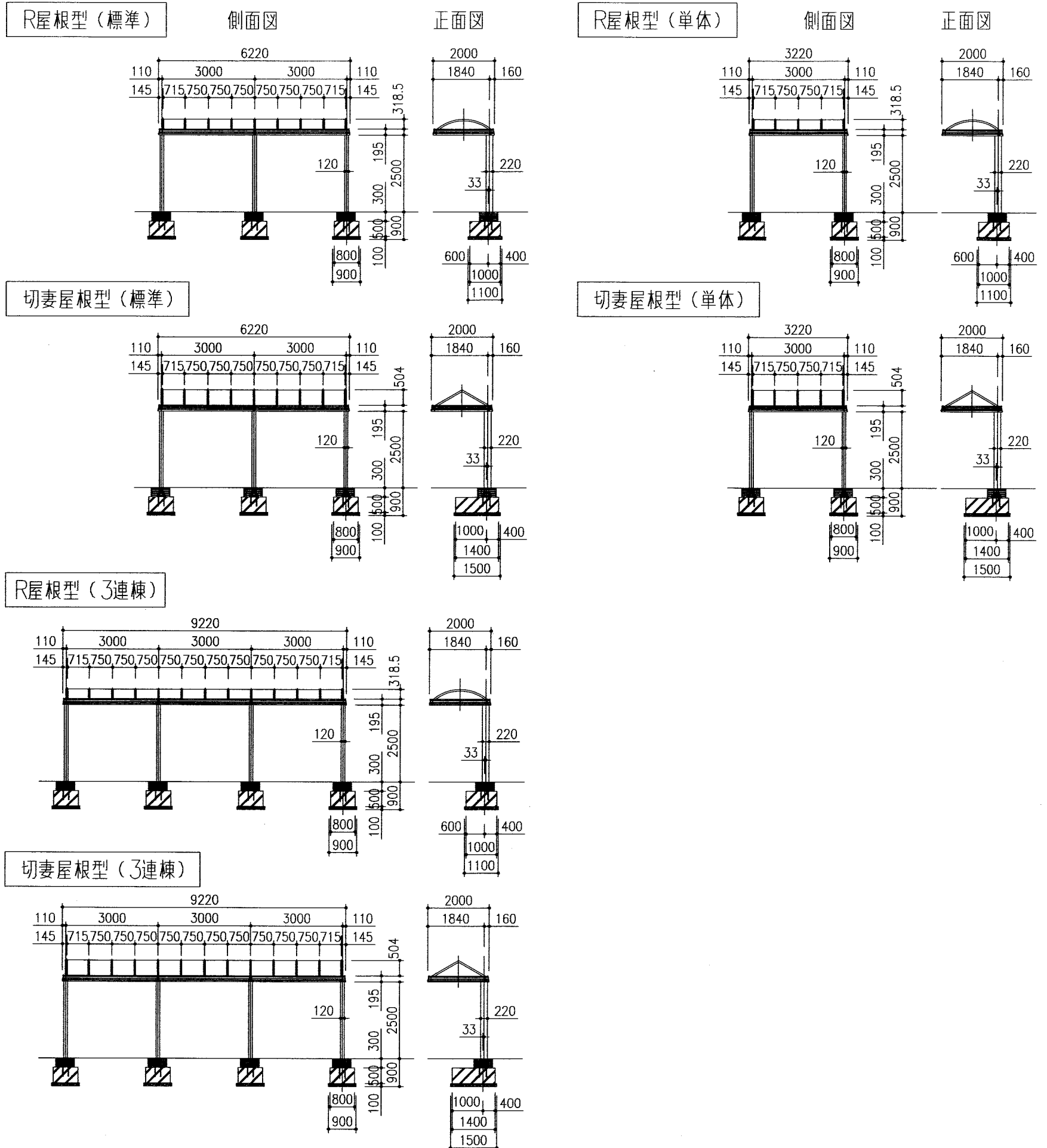
アンカーセット

拾い出し表

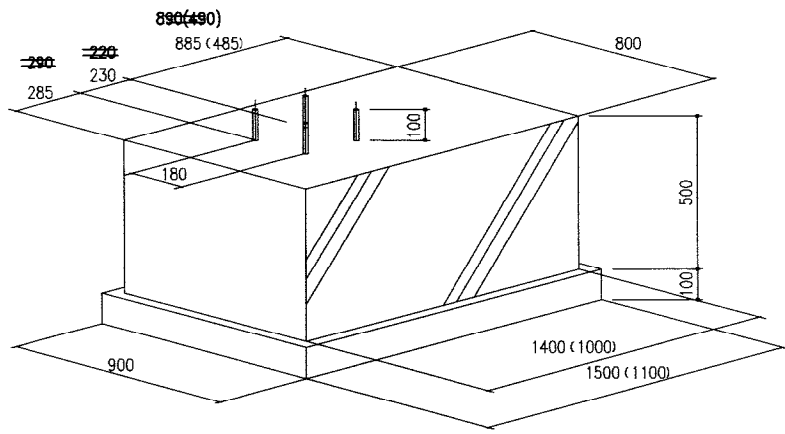
R 屋 根 型	名称	単体3220	標準6220	連棟3000+6220
	単体セット3220	1		
	標準セット6220		1	1
	連棟セット3000			1
	アンカーセット	2	3	1+3

切 妻 屋 根 型	名称	単体3220	標準6220	連棟3000+6220
	単体セット3220	1		
	標準セット6220		1	1
	連棟セット3000			1
	アンカーセット	2	3	1+3

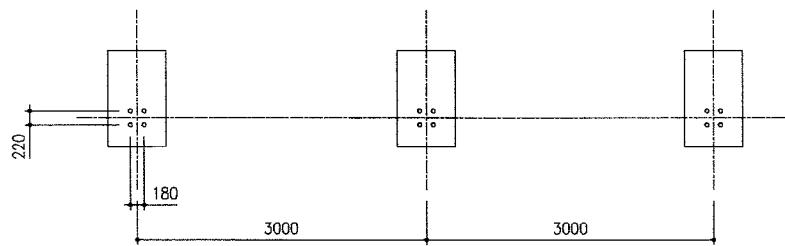
納まり図



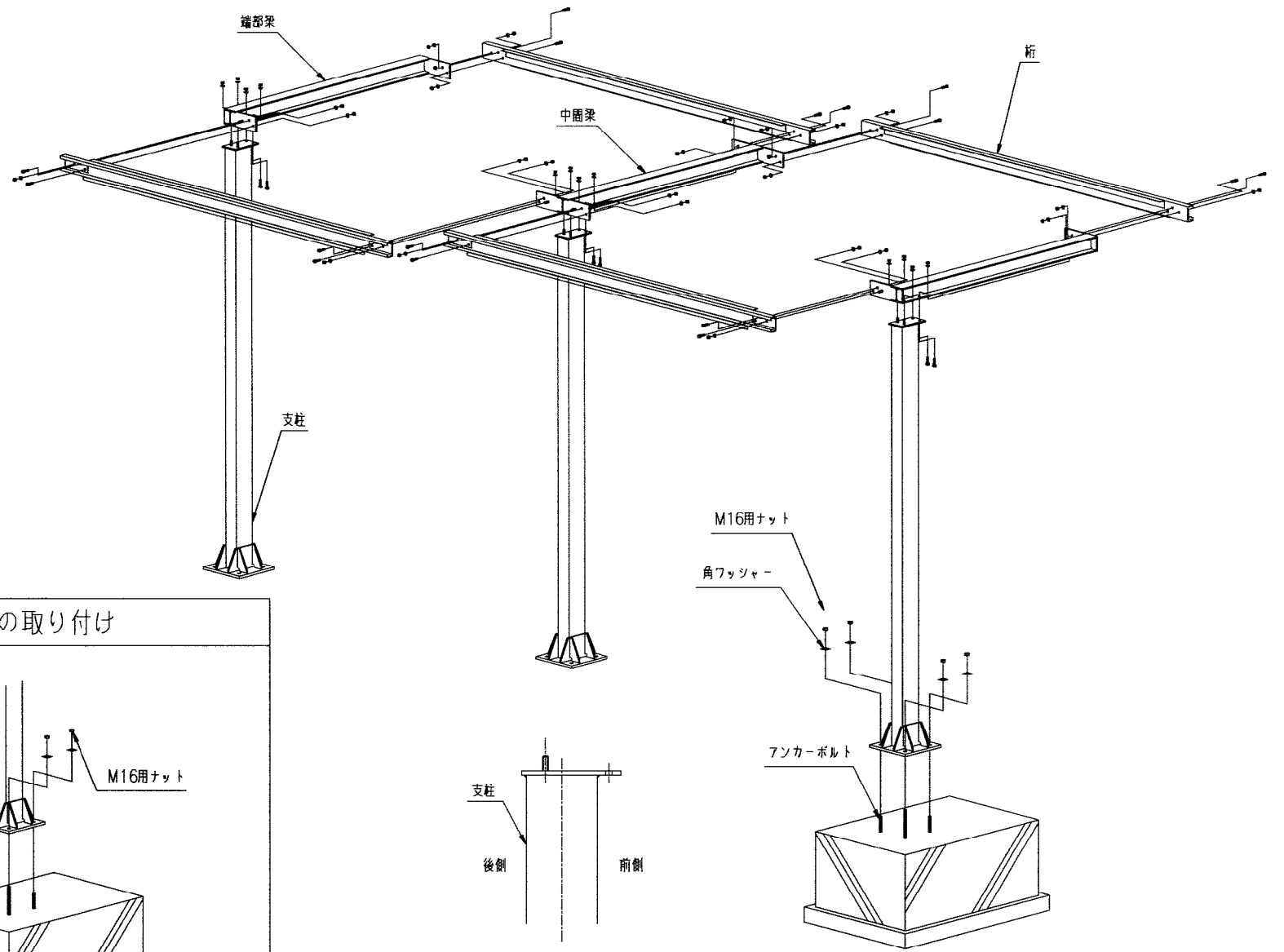
1. 基礎及びアンカーの取り付け



* () 寸法はR屋根型です。

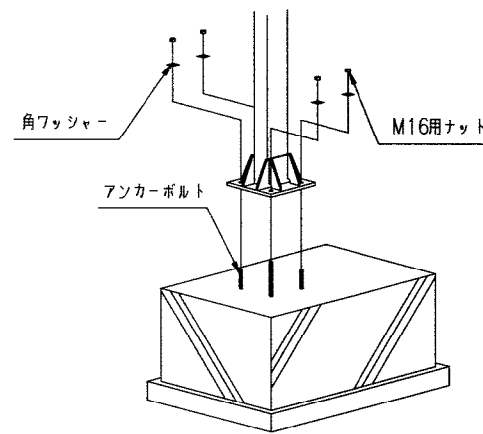


2. スチール枠の組立

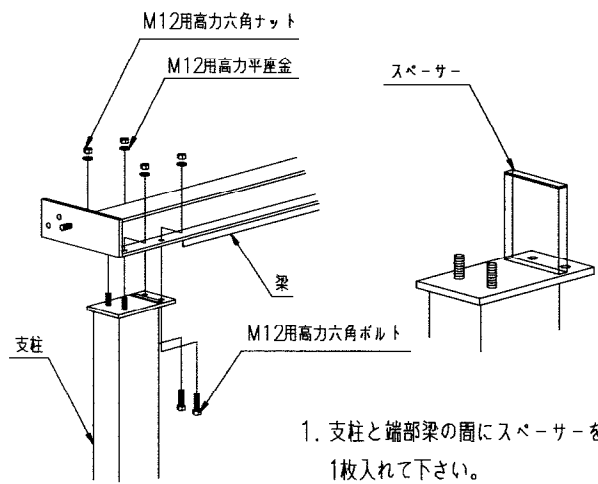


注. 柱の向きに注意して下さい。

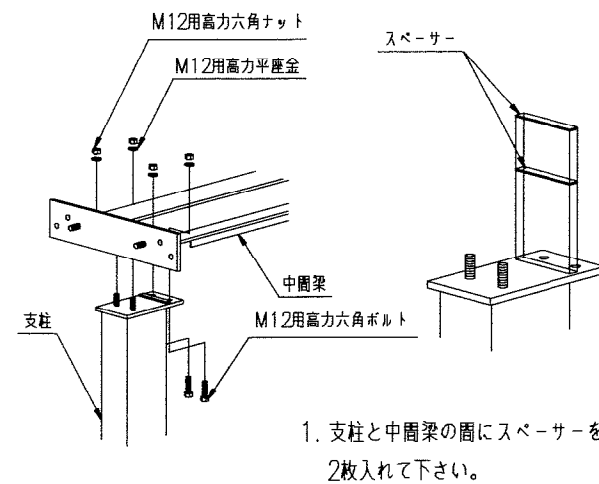
2-1. 柱の取り付け



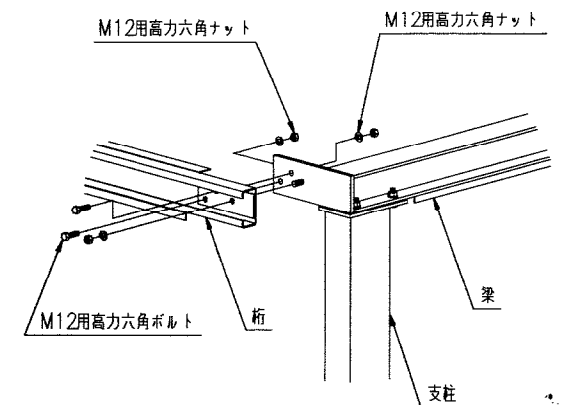
2-2. 梁の取り付け



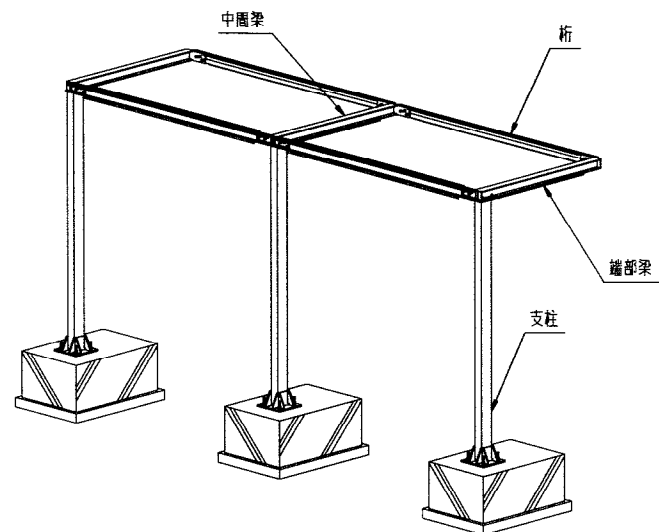
2-3. 中間梁の取り付け



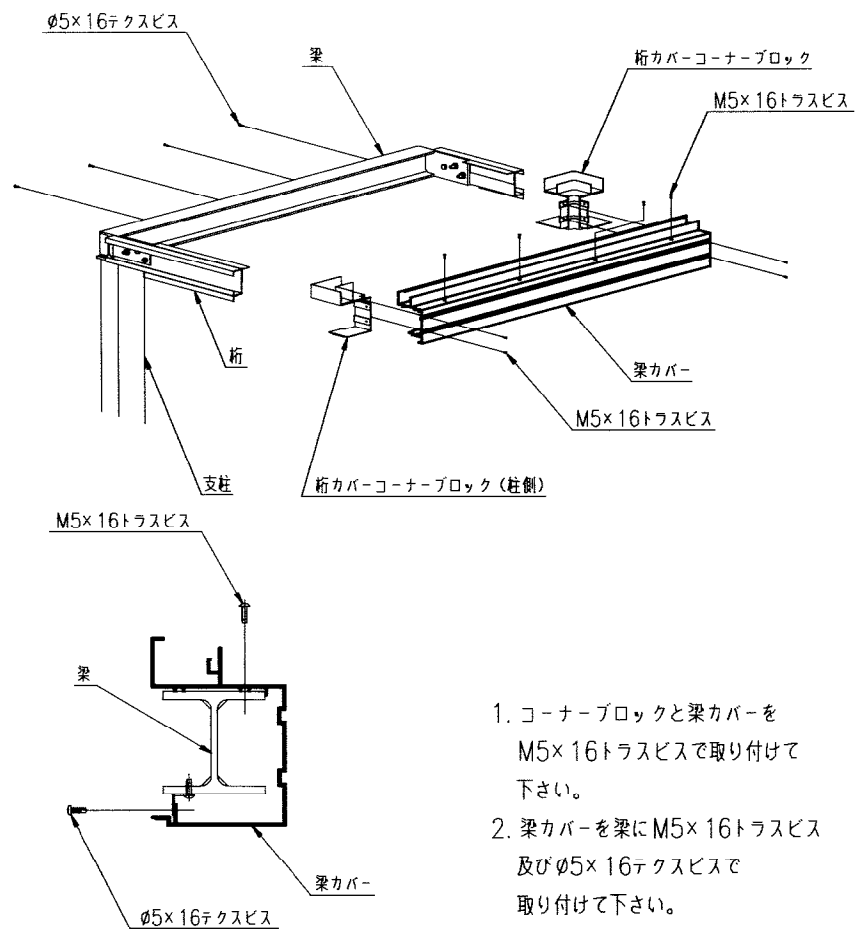
2-4. 桁の取り付け



3. スチール枠対角及び寸法確認

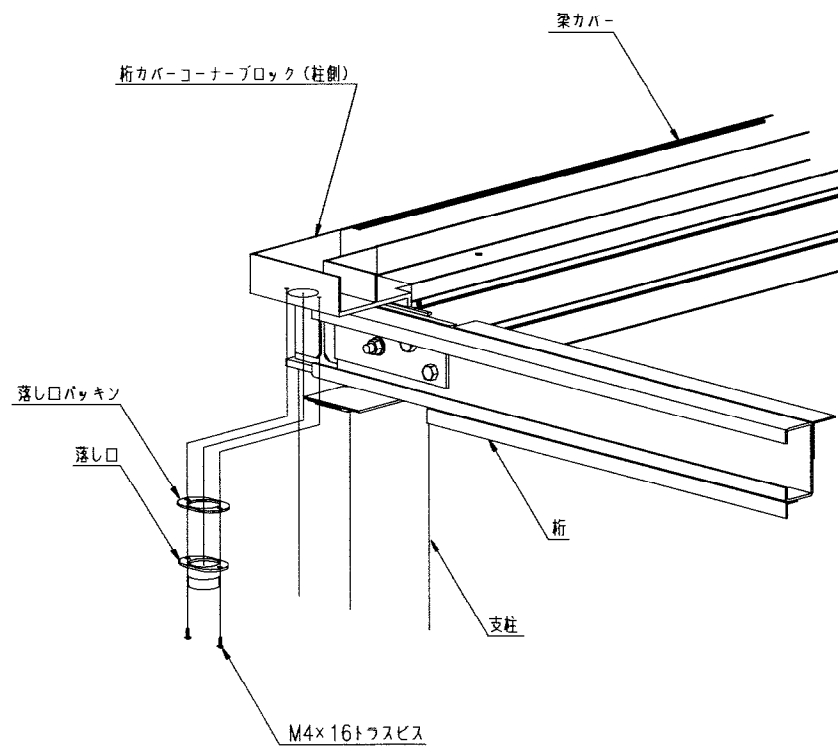


4. 梁カバーの取り付け



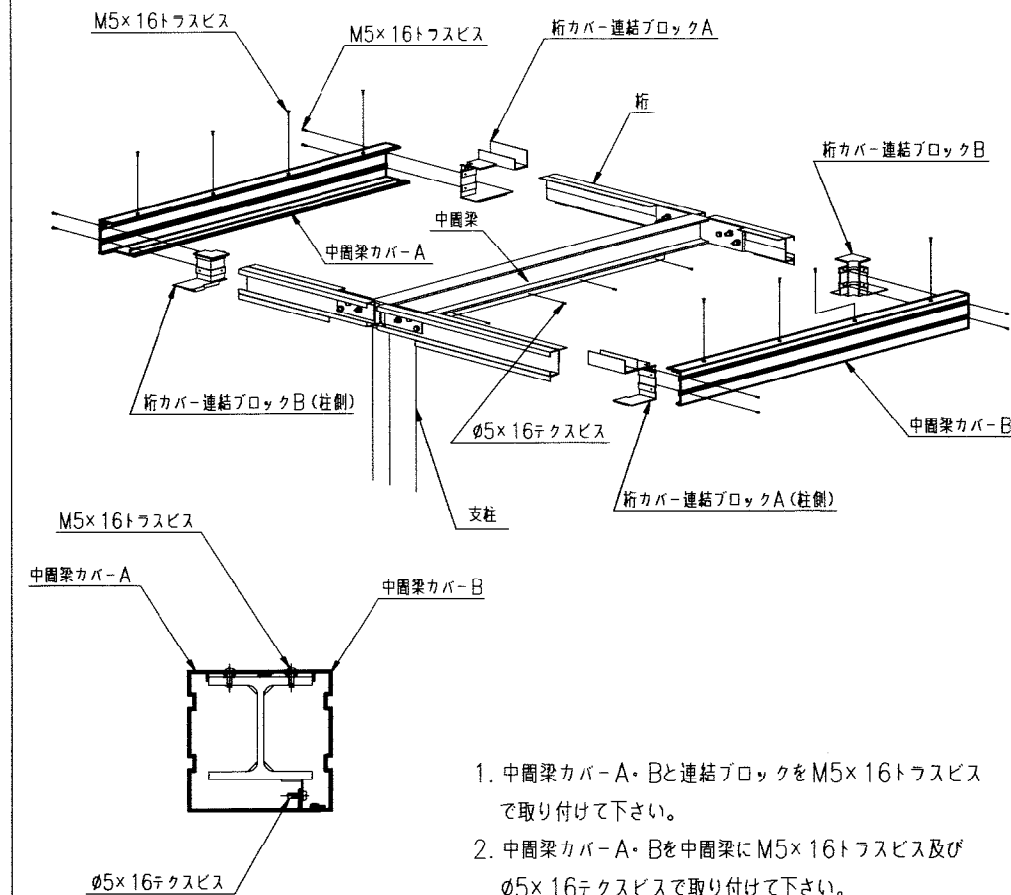
1. コーナーブロックと梁カバーをM5×16トラスビスで取り付けて下さい。
2. 梁カバーを梁にM5×16トラスビス及びØ5×16トラスビスで取り付けて下さい。

5. 落し口の取り付け



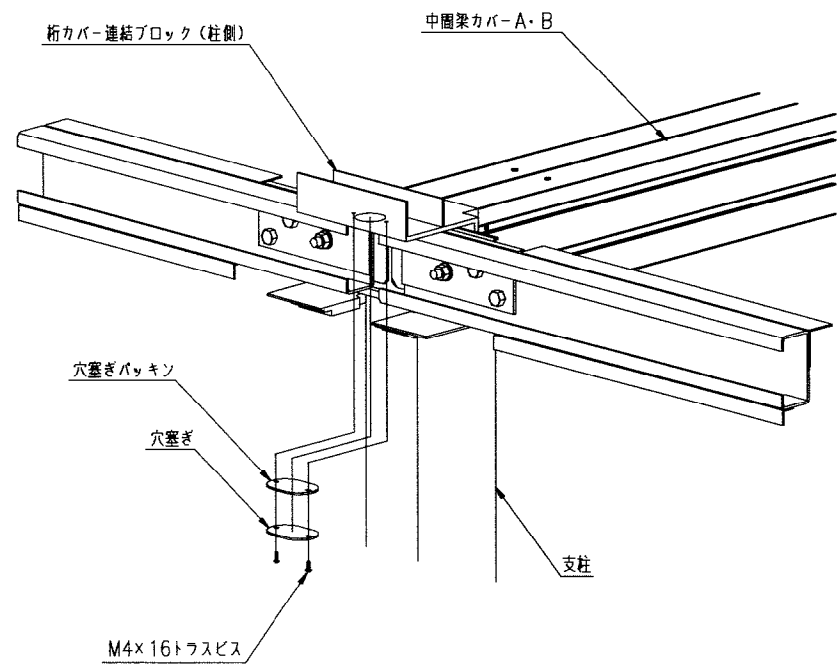
1. 落し口をコーナーブロックにM4×16トラスビスで取り付けて下さい。(両端2ヶ所)

6. 中間梁の取り付け



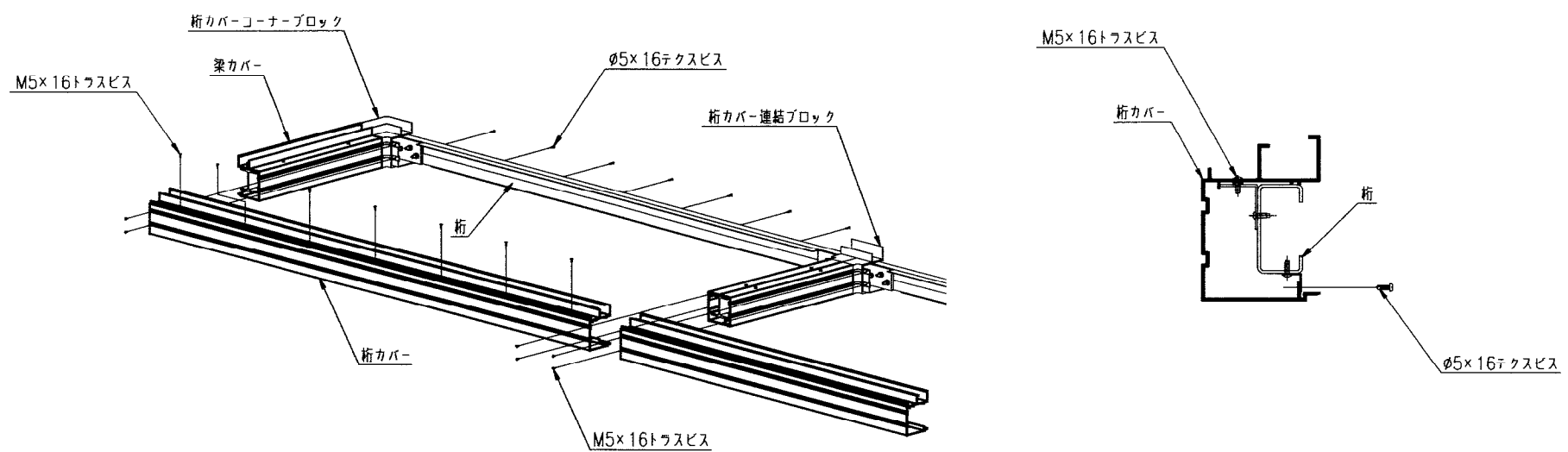
1. 中間梁カバー-A・Bと連結ブロックをM5×16トラスビスで取り付けて下さい。
2. 中間梁カバー-A・Bを中間梁にM5×16トラスビス及びØ5×16トラスビスで取り付けて下さい。

7. 桁カバー連結ブロック及び穴塞ぎの取り付け



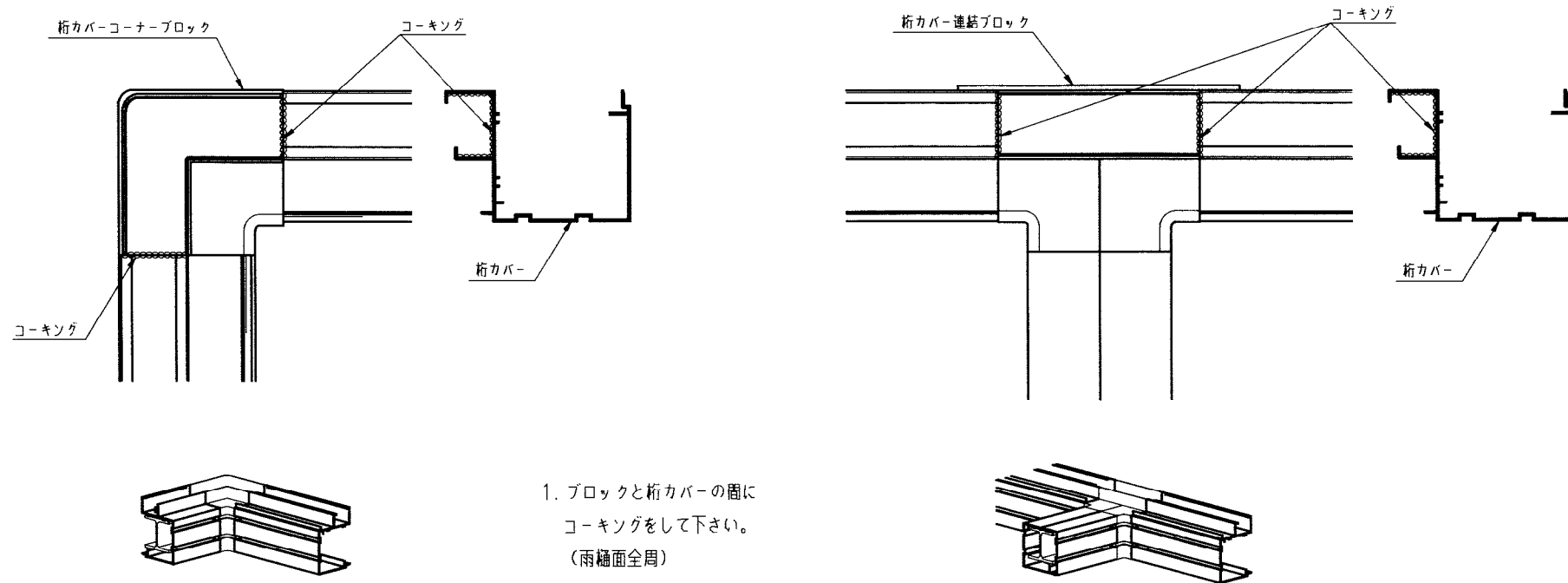
1. 連結ブロックに穴塞ぎをM4×16トラスビスで取り付けて下さい。

8. 桁カバーの取り付け



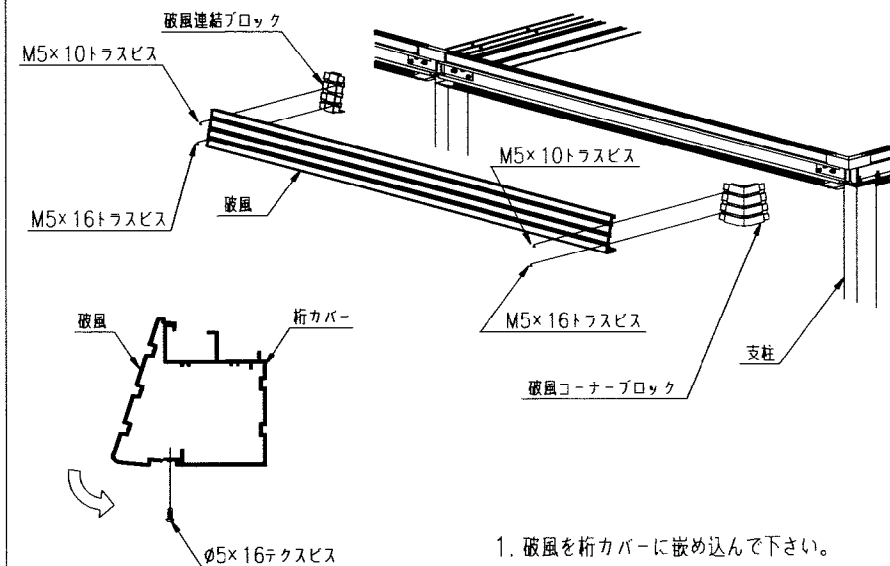
1. 桁に桁カバーをM5×16トラスビス及びØ5×16トラスビスで取り付けて下さい。

9. 桁カバーコーナーブロック及び桁連結ブロック及び桁カバーのコーキング



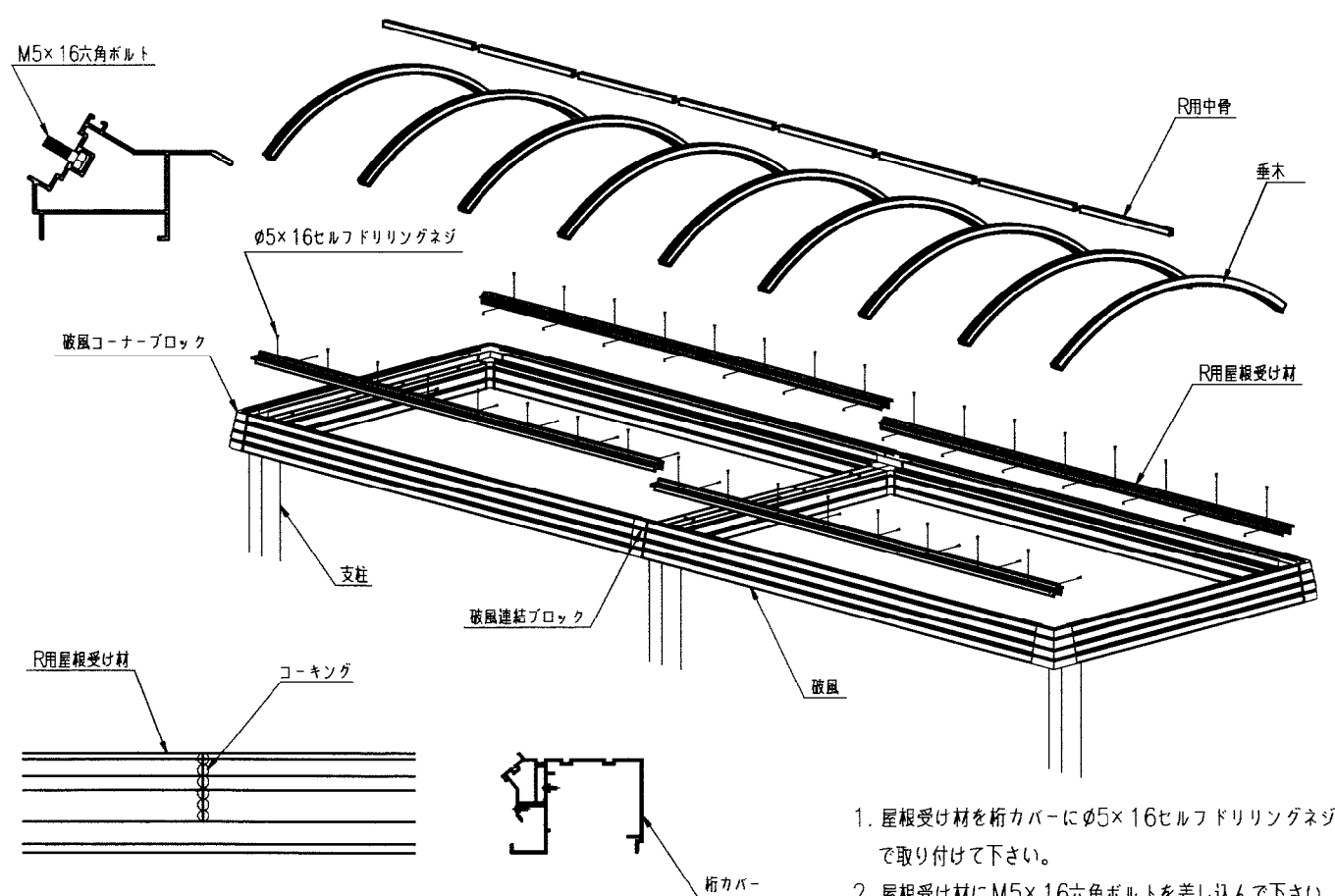
1. ブロックと桁カバーの面にコーキングをして下さい。(雨樋面全周)

10. 破風の取り付け



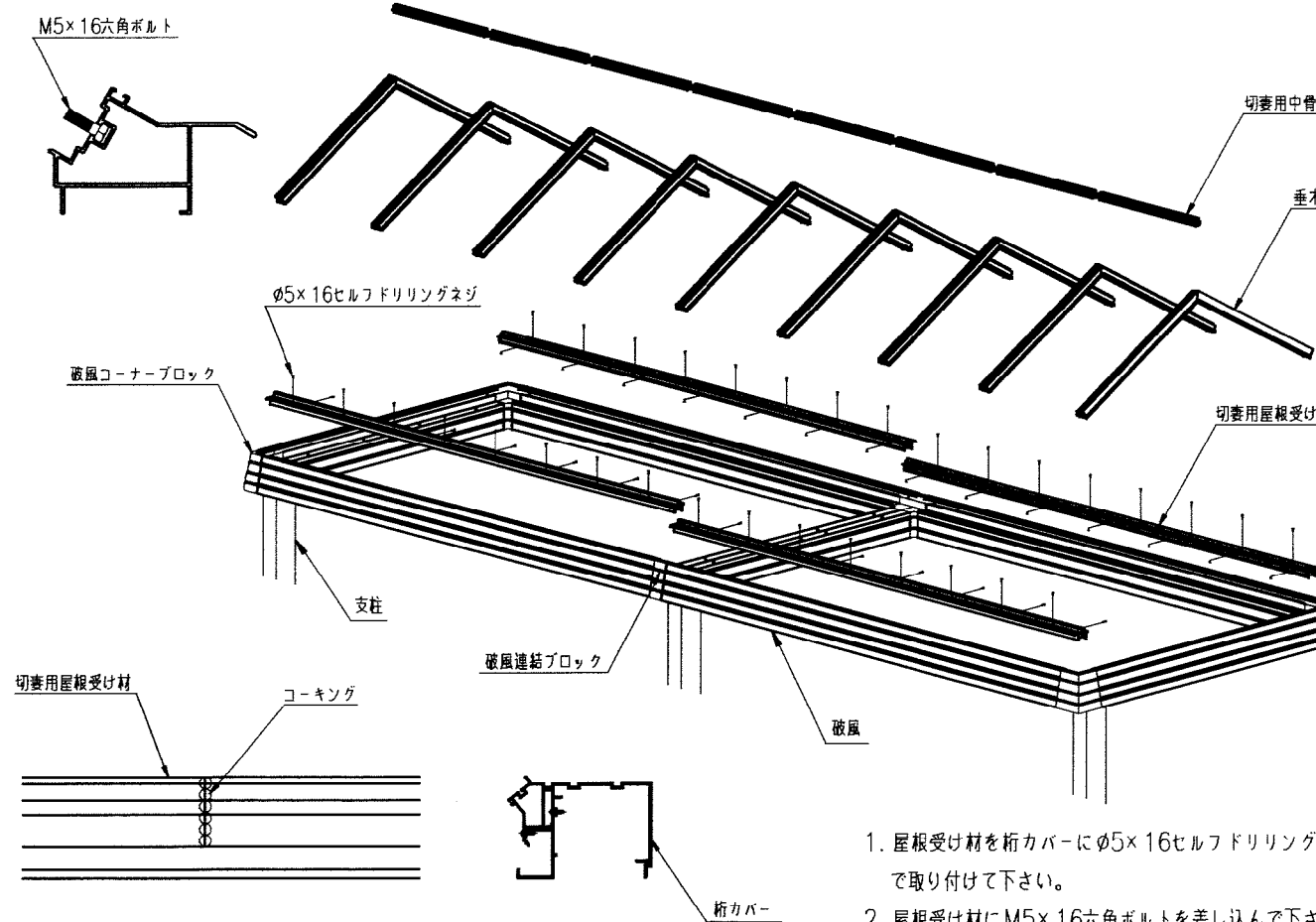
1. 破風を桁カバーに嵌め込んで下さい。
2. コーナーブロック及び連結ブロックを桁カバーにM5×16トラスビス及びM5×10トラスビス及びφ5×16テクスビスで取り付けして下さい。

11. 屋根受け材の取り付け (R屋根型)



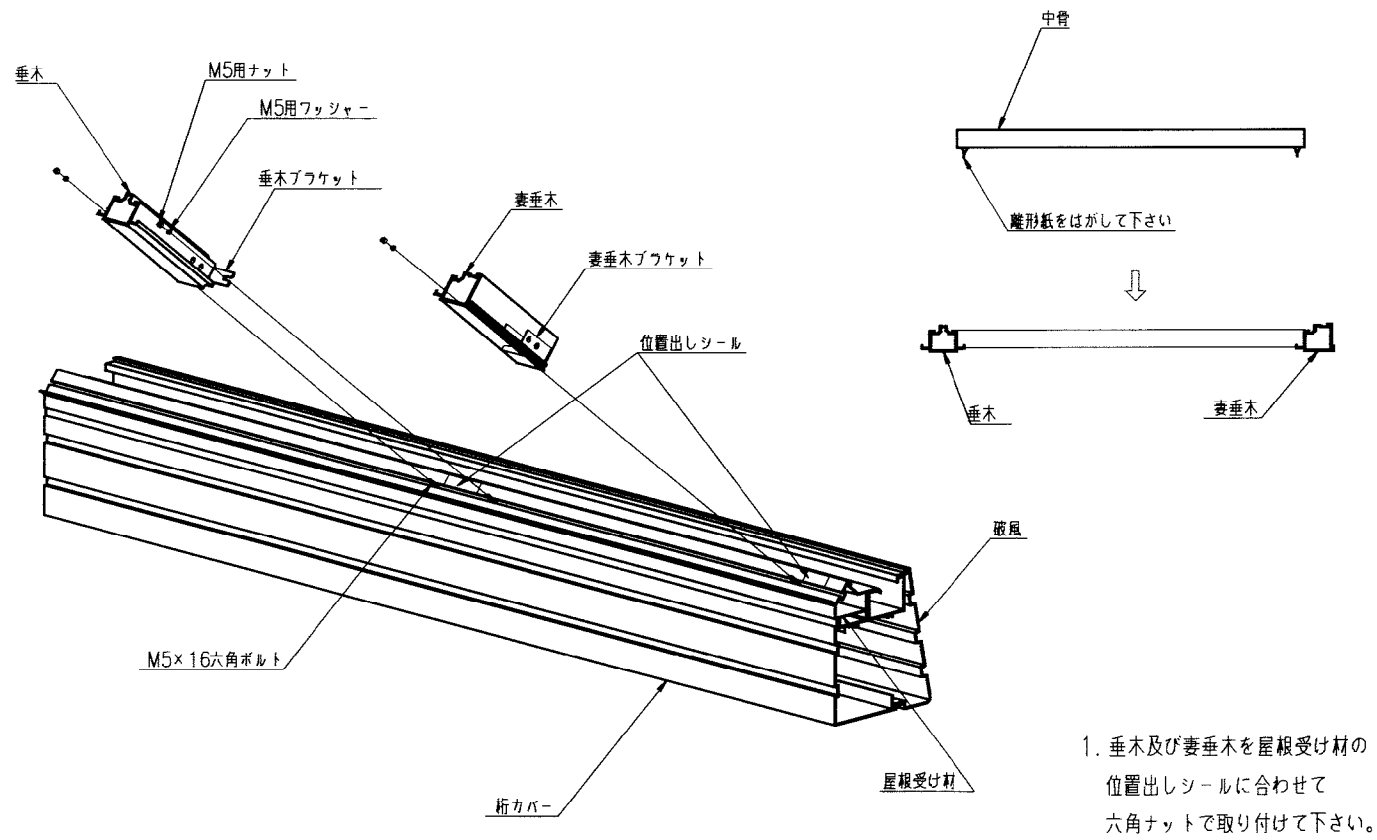
1. 屋根受け材を桁カバーにφ5×16セルフドリリングネジで取り付けして下さい。
2. 屋根受け材にM5×16六角ボルトを差し込んで下さい。

11-1. 屋根受け材の取り付け (切妻屋根型)

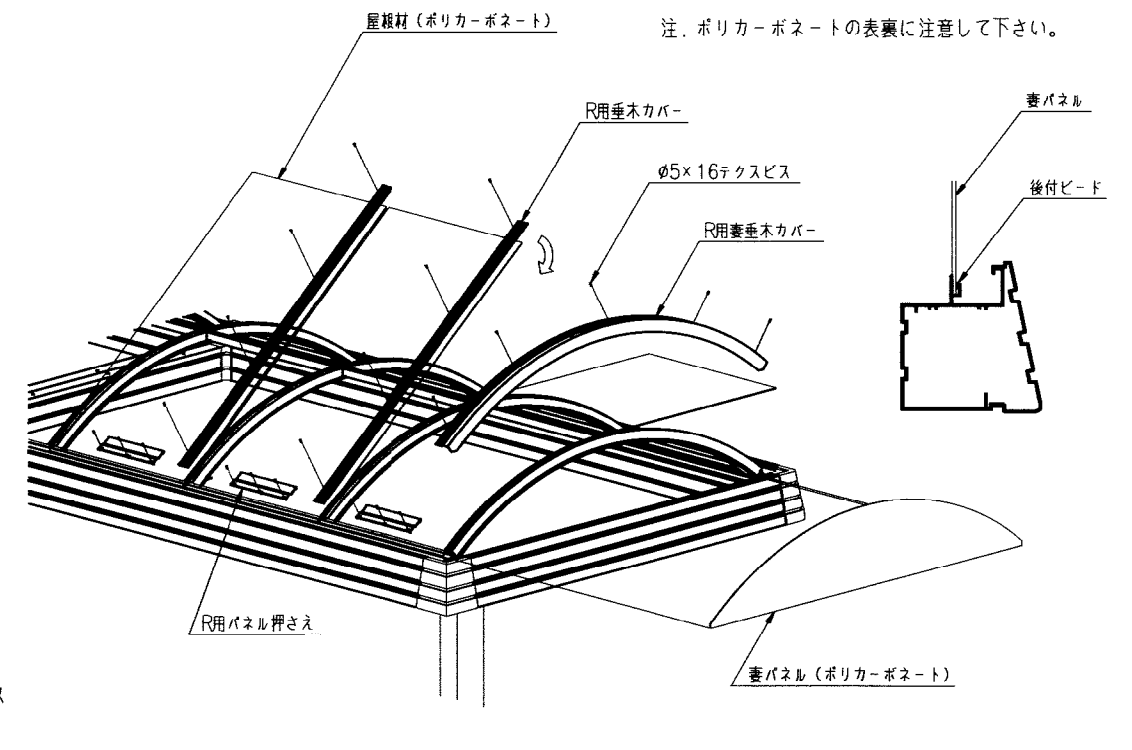


1. 屋根受け材を桁カバーにφ5×16セルフドリリングネジで取り付けして下さい。
2. 屋根受け材にM5×16六角ボルトを差し込んで下さい。

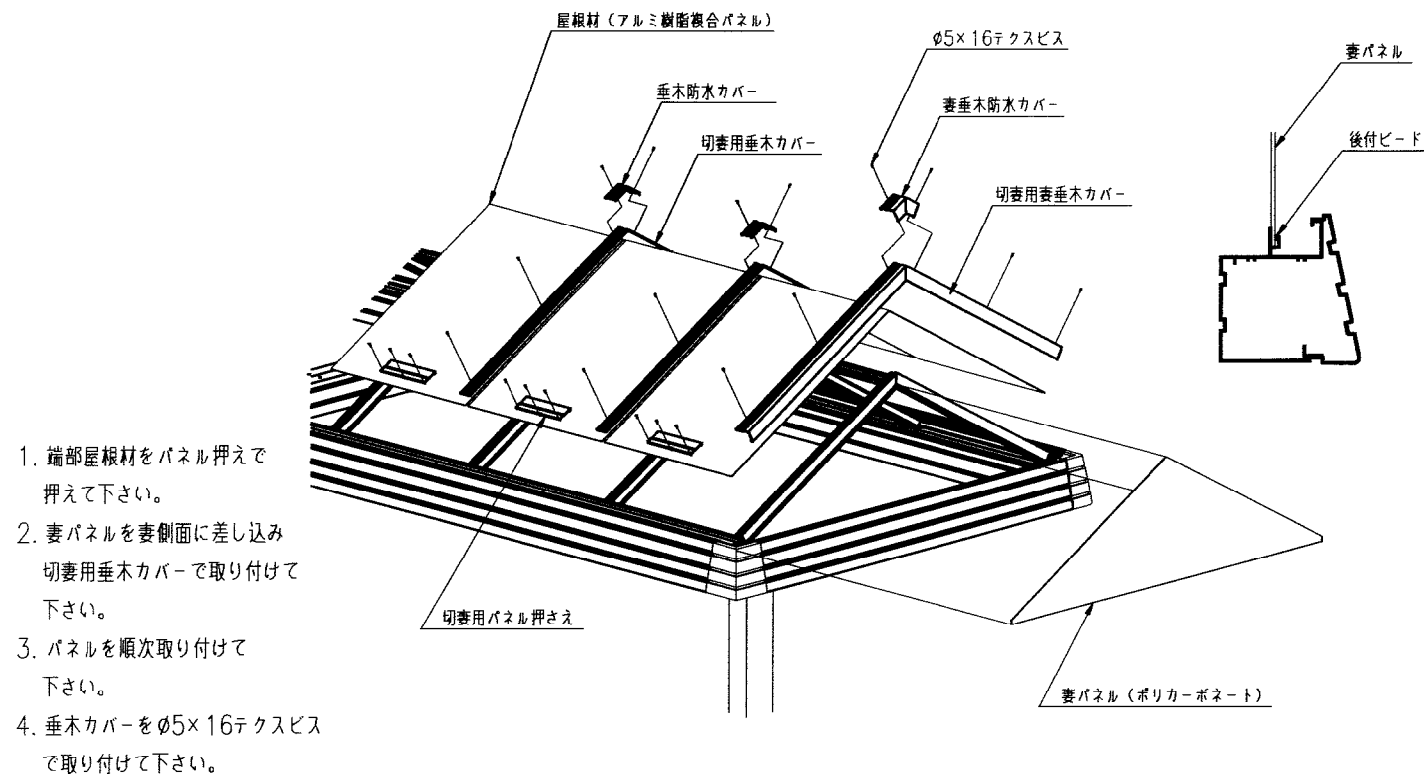
12. 垂木の取り付け



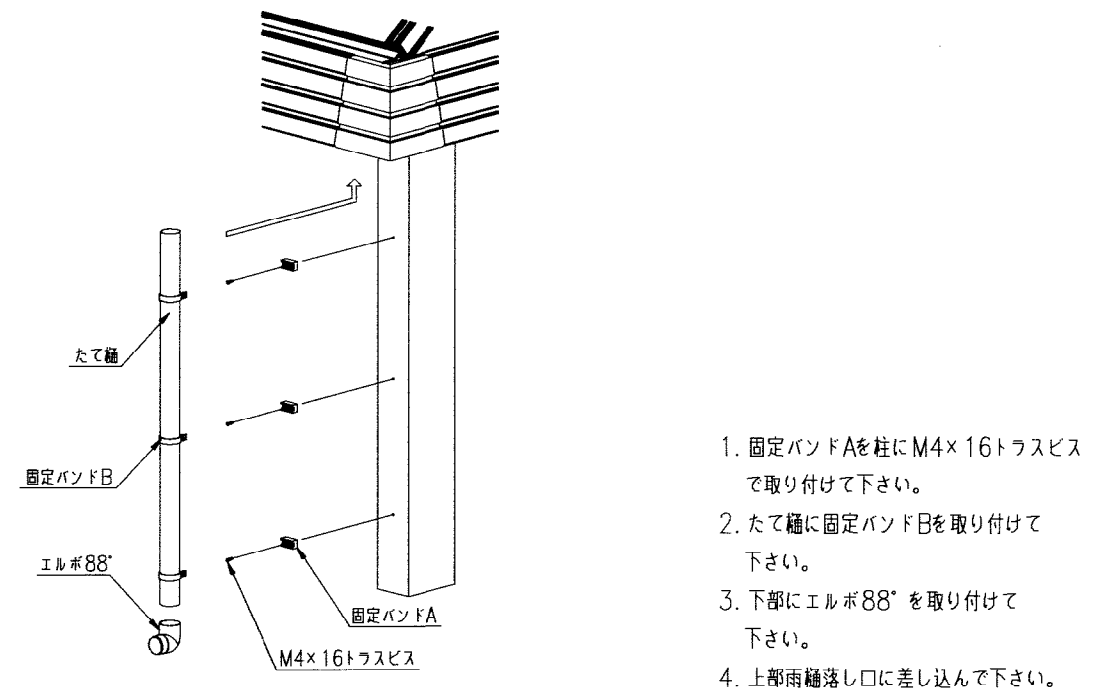
13. 屋根材の取り付け (R屋根型)



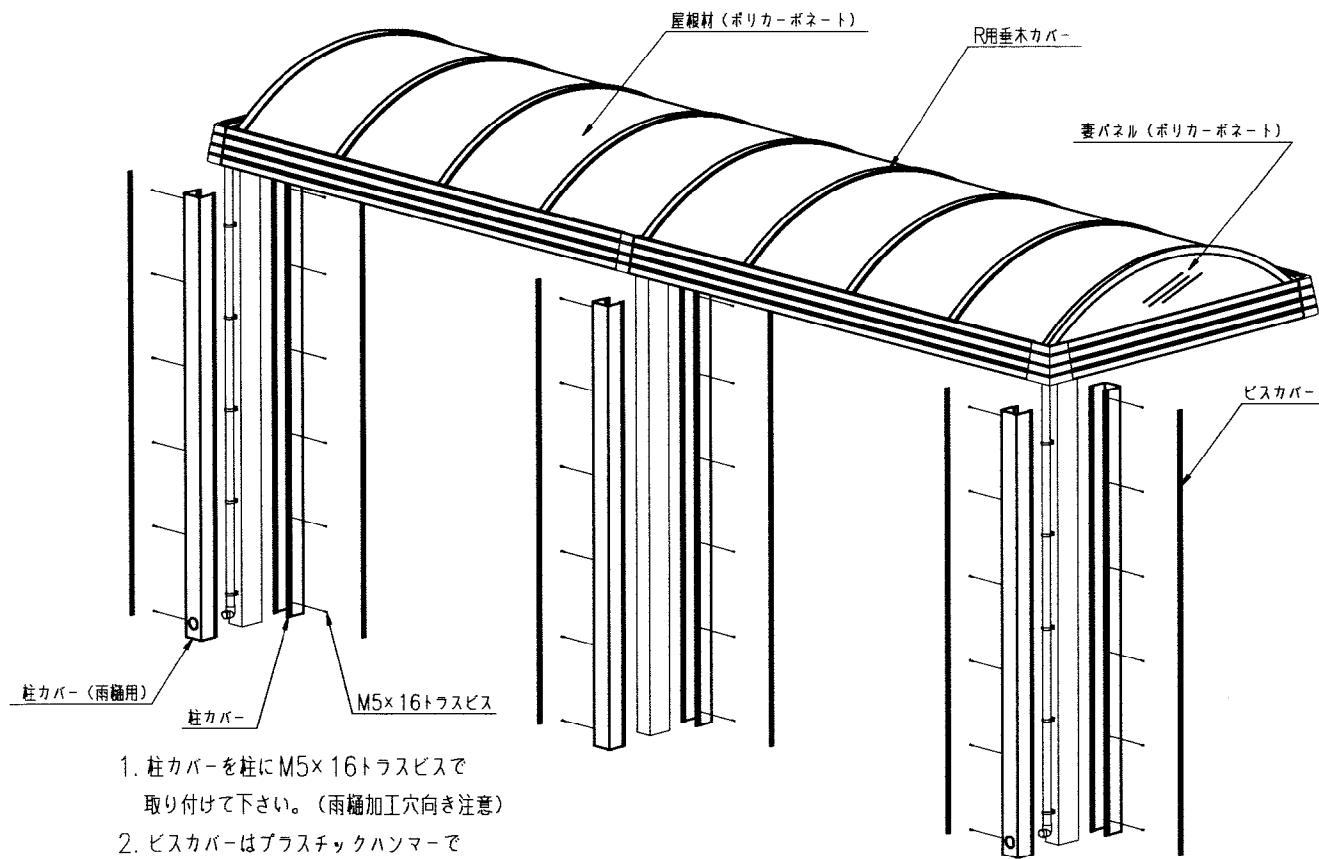
13-1. 屋根材の取り付け (切妻屋根型)



14. 雨樋の取り付け

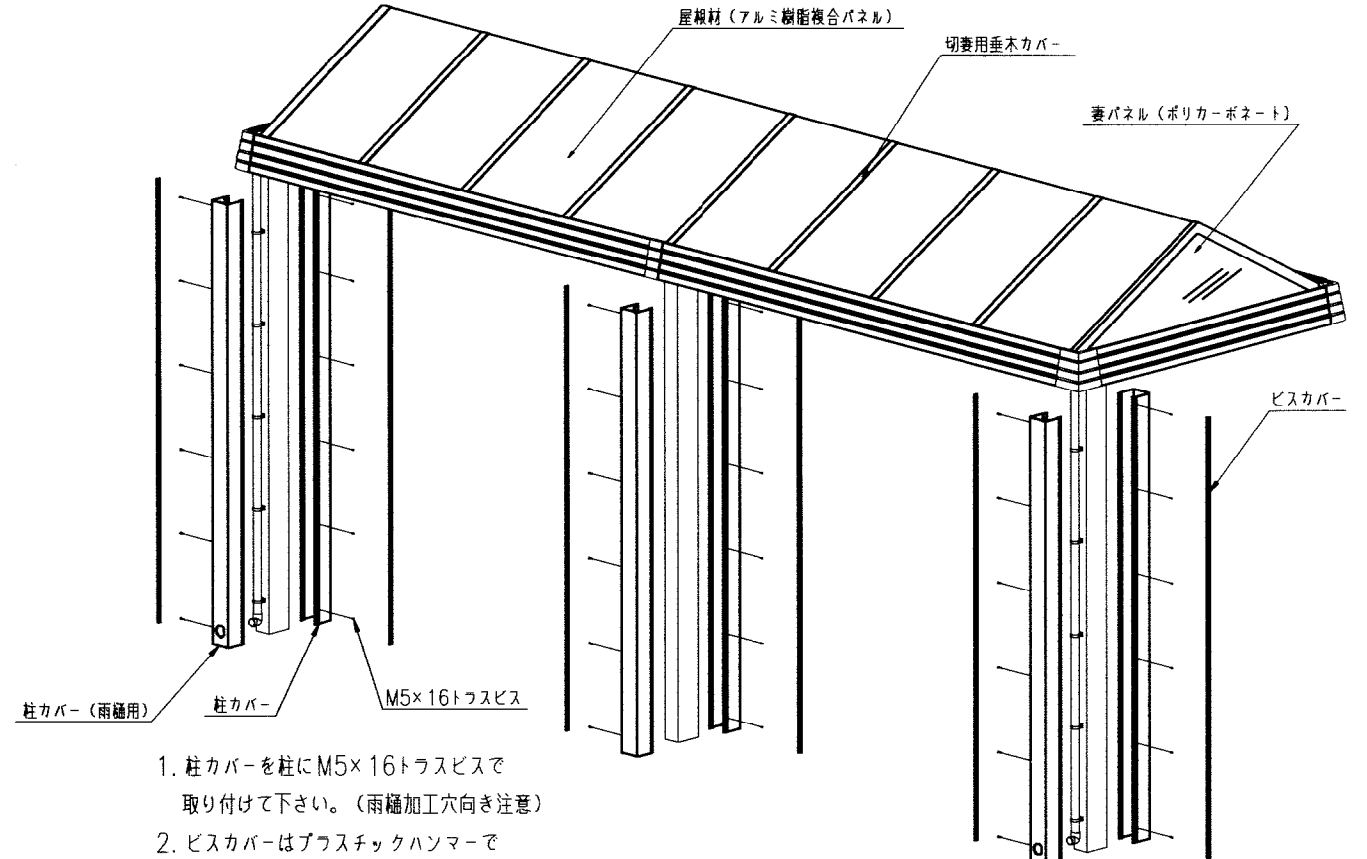


15. 柱カバーの取り付け (R屋根型)



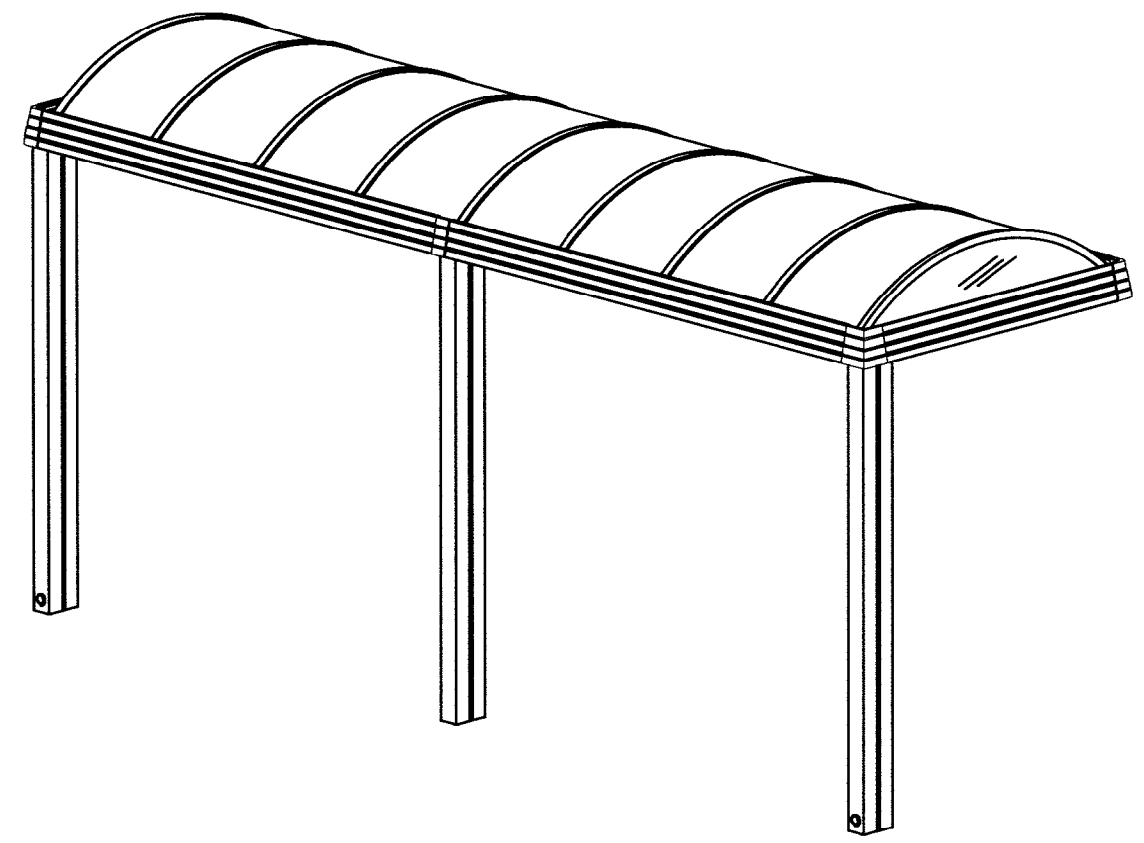
1. 柱カバーを柱にM5×16トラスビスで取り付けて下さい。(雨樋加工穴向き注意)
2. ビスカバーはプラスチックハンマーで嵌め込んで下さい。

15-1. 柱カバーの取り付け (切妻屋根型)



1. 柱カバーを柱にM5×16トラスビスで取り付けて下さい。(雨樋加工穴向き注意)
2. ビスカバーはプラスチックハンマーで嵌め込んで下さい。

16. 完成図 (R屋根型)



16-1. 完成図 (切妻屋根型)

